

星の子通信3

～チーム星宮のみなさんへ～



先生方の活躍ぶりや授業の様子、先生方へのメッセージを載せています。

R 2.6.15 No.5
文責 新井麻起

今回は、市委嘱研究を受けての校内研修の第3回「思考ツールの使い方」とし、教科：単元：使う思考ツール・授業のどの部分でどのように使うのか、学び合う研修でした。

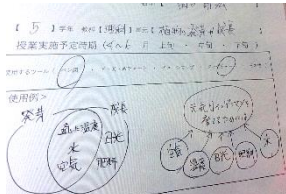
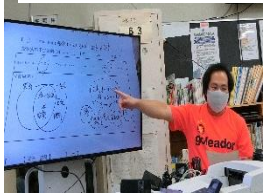


【山田教諭】：理科「元気なインゲン豆をそだてよう」

【山田教諭】：国語「随筆を書こう」

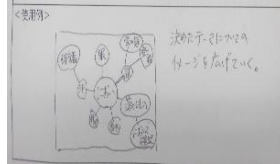
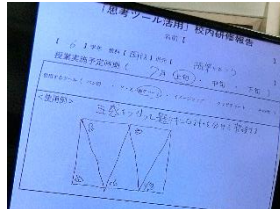


【松井教諭】：算数「公倍数を見つけよう」



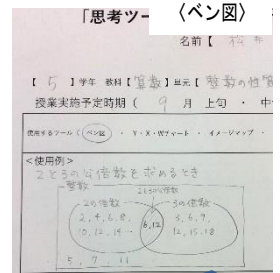
〈ベン図・クラゲチャート〉

クラゲチャートを使って、「元気なインゲン豆を育てるためには」を課題とし、考えられることを書いていく(土・水・日光・肥料・・・)出されたものをベン図を使い「成長」と「発芽」の2点に分け、そこから何が分かったかを考察させる。



〈Wチャート・イメージマップ〉

五感(目・耳・味・匂い・触感)を使って題材になるものを、分類しながらWチャートに書き出す。五感の内1つを選び、その言葉からイメージできるものをつなげて書き出していく。



2と3の倍数をそれぞれの円の中に書き入れさせ、同じになる数字を重なる部分に書かせることで、公倍数を理解させる。



【矢野間教諭】：生活「動くおもちゃをつくらう」



〈イメージマップ〉

「うごく」という言葉からイメージできることを関連付けながら、書かせていく。例:はねる・かえる とぶ・鳥

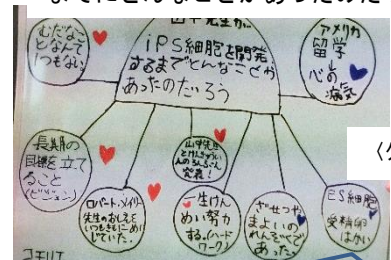
【社会「織田信長の人物像に迫ろう!」】



〈Xチャート〉

Xチャートに抑えておきたい事柄等例:戦い・商売・意気込み・宗教を書き入れ、それらの言葉に関して行ったことや、意味を付箋に書き出ししながらどんなことをしたのか、そこから分かる織田の人物像を対話しながら「深め」ていく。

【山中教授がIPS細胞を開発するまでにどんなことがあったのだろう】

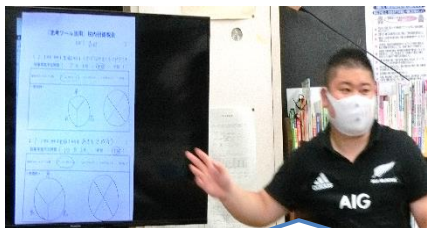


〈クラゲチャート〉

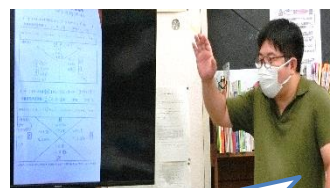
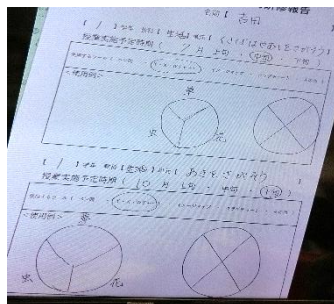
「山中教授がIPS細胞を発見するまでどんなことがあったのだろう!」をクラゲの頭の部分に書き入れ、足の部分に出来事を書き込ませる。例:「ロバート・メイリー先生の教えをいつも肝に銘じていた。」「ES細胞受精卵を破壊」



【吉田教諭】：生活「春夏秋冬をさがそう」



季節の花や虫・草の種類を書き出し、Yチャートで分類する。Xチャートで春・夏・秋・冬のそれぞれを整理し、季節の違いや変化にきづけるようにする。



Yチャートは水の特徴を3つに分類(液体・個体・気体)させ、それぞれの特徴をまとめて比較することができる。

